



神武天皇社拝殿 御所市柏原で



(住所) 御所市柏原246
(祭神) 神倭伊波礼毘古命 (神武天皇)
(交通) JR掖上駅から徒歩約15分

(拝観) 境内自由。南の畹間神社は即位前の妻・吾平津媛が祭られ、前面道路より拝観可
(駐車場) 無

神武天皇社 (御所市)



から一里ほど西南に行つたところだ」と聞き、それを「菅笠日記」に書き残しました。随筆家の白洲正子はこの話に興味を持ち、神武天皇社にお参りし、「土豪に擁されて即位した神武天皇の宮跡に似つかわしい」などと

1971 (昭和46) 年の著書「かくれ里」に書き残しています。神武天皇社の総代を務める藤井謙昌さん(68)は「神武天皇の宮跡はここだ」という説は根強いです。旧地名・掖上の掖には、宮殿という意味があるそうです。明治の初めには「宮跡に指定されて

しまうと引越さなければならぬ」ということで、証拠書類を焼き払い、指定を免れたという言い伝えがあります」。

神社の周辺には国見山や本馬山があり、いずれも神武天皇が東征を達成した後、高い所から国土を見渡す国見をしたという畹間の丘の候補地とされています。

(奈良まほろばソムリエの会専務理事 鉄田憲男)

神武天皇社は御所市柏原(旧掖上村柏原)にあり、元はカシワ(柏)の密生地でした。「日本書紀」に神武天皇の宮は畹傍山の東南とありますが、これを「西南」の誤りとし、古くからこの地を神武天皇檀原宮の推定地とする説があります。現在の檀原の地を訪ね

根強い檀原宮跡説